

新年のごあいさつ



社会福祉法人本宮市社会福祉協議会

会長 古田部 幸夫

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、日頃より本会の地域福祉の推進活動に、ご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここ数年、新型コロナウイルス感染症への不安から、地域においては各種会合やレクリエーションの開催を自粛するなど、地域コミュニケーションの機会が少ない状況が続いておりましたが、昨年の夏頃から、少しずつコロナ禍以前の状況を取り戻しつつあるように見受けられます。本会におきましても、コロナの影響で実施を控えていた事業につきまして再開し、実施いたしました。中でも、4年ぶりに5月に実施いたしました「子どもまつり」は、5千人を超える来場者があり、盛況でした。また、本会の重要な福祉活動として、地域の生活課題となっている高齢者の孤立防止や子育て支援、要支援者の権利擁護、生活にお困りの方への支援などの取組みを積極的に実施してまいりました。

こうした取組みが評価され、11月には全国社会福祉大会において、優良活動社会福祉協議会表彰を授賞いたしました。ご支援ご協力いただいた皆様方や関係各位に、改めて感謝申し上げます。

本年4月には、本会の策定する「本宮市地域福祉活動計画」の3期目の計画期間が始まります。私ども社協役員一同、引き続き「共に支え合う仕組みがあり、みんなが助け合いながら、安心して暮らしているまち」を基本理念として、地域福祉の取組みを進めて参ります。皆様方の引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様方にとりましてご健勝で幸多き年でありますようお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

本宮市身体障がい者福祉会だより

令和5年度社会生活訓練・

会員視察研修開催

本宮市身体障がい者福祉会事業の一環として、11月15日、社会生活訓練を会員視察研修とあわせて開催しました。

この事業は、障がい者の自立と社会参加の推進を図るため、毎年実施しています。



展望デッキから飛行機やヘリコプターの離陸の様子を見ることができました。

すごい音
だなぁ！

今年度は、会員10名が参加し、三春ダム及びダム資料館と福島空港を見学しました。

ダム資料館では、バリアフリーの状況や、車いすユーザー等の身体障がい者への対応について説明を受け、その後、三春ダム周辺を散策しました。

特に福島空港では、実際に施設にある、車いすを利用することもでき、思い出に残る実りある研修ができました。

◆入会に関するお問合せ

本宮市身体障がい者福祉会

(社協内) TEL 24-7780